

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 408 事業名 予防接種事業 (BCG)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		結核予防費
	大事業		結核予防事業
	事項		BCG接種事業

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画	次世代育成支援行動計画		
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	加藤智康 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	生後6か月未満の児に、結核に対する免疫を付与し、発病の防止や重症化の阻止をする。 小児の重篤な結核の発病を予防することで、結核のまん延を防止し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。	生後6か月未満の児を対象にBCG予防接種を行う。(地理的条件、交通事情、災害の発生その他の特別な事情によりやむを得ないと認められる場合には、生後1歳未満の児を対象とする。) 4か月児健診と同時案内、同時接種を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		BCG予防接種 実施回数: 73回 対象者数: 2,977人 接種者数: 2,980人 (備考) BCGワクチン集団用から個人用へ移行	BCG予防接種 実施回数: 72回 対象者数: 3,017人 接種者数: 3,018人	BCG予防接種 実施回数: 83回 対象者数: 3,020人 接種者数: 2,964人		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	9,924	8,404	13,351	11,243	13,177	12,738	12,458			
	伸び率 (%)	-	-	34.5%		-1.3%		-5.5%			-100.0%
	人件費	常勤職員	4,413	4,810	4,413	7,661	7,661	8,318	7,661		
		非常勤職員	629	629	629	606	606	238	606		
		小計	5,042	5,439	5,042	8,267	8,267	8,556	8,267		
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	9,924	8,404	9,924	11,243	13,177	12,738	12,458				
所要人数	常勤職員	0.58	0.63	0.58	1.01	1.01	1.1	1.01			
	非常勤職員	0.26	0.26	0.26	0.24	0.24	0.09	0.24			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	BCG接種実施回数	年度目標値				72	72	83	84	84	
		実績値				72	72	83			
	単位	回	全体目標値		83	全体目標達成度		100.0%	100.0%	100.0%	
			年度別達成度		100.0%	100.0%	100.0%				
	単位	年度目標値									
実績値											
成果指標	BCG接種率					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	BCG接種率	年度目標値				100	100	100	100	100	
		実績値				100.1	100	98.3			
	単位	%	全体目標値		100	全体目標達成度		100.1%	100.0%	98.3%	
			年度別達成度		100.1%	100.0%	98.3%				
	単位	年度目標値									
実績値											
単位	全体目標値			全体目標達成度							
	年度別達成度										

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	現状のBCG接種率を維持することで、結核の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することができる。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	